

佐潟（新潟市）の植生

—人為的に



水位が高い状態の佐潟（1988. 11. 16）



水位が低く、乾上って一部の湖底面が露出（1989. 8. 2）

佐潟は新潟市の自然植生が残されている唯一の地域であり、多くの植物が分布し、中には稀産で貴重なものが生育している。

特に湖岸は多くの植物が生育する大切な環境であり、人為の影響を最小限に留めるべきところである。

流出口をせきとめ、水位を確保し、湖岸の改修を停止し、自然の状態での保全が望まれる。

佐潟の公園整備に思う

都市公園は、荒地を改修して造成する場合が多い。荒地に対する解釈は人によって違うでしょうが、佐潟のように比較的自然のまま残っている所を荒地と理解されているように思われていて悲しい。

新潟市は文化都市として躍進すべく努力していると思うが、文化を支える根源として残された貴重な自然への十分な配慮を考えなければならないのは当然である。

しかし、佐潟の公園計画は、どのような経過で、誰のため、何の目的で進行しているのか、市民は関心を持って考えて



乾上って枯死したヒシ（1989. 8. 2）

ほしい。そして佐潟が現在の状態で存在する意義—単なる荒地でないこと—を考えていただきたい。

少なくとも現在の佐潟は、野鳥の楽園であり、貴重な植物が生育する自然の豊かな環境である。大規模に改変することなく次代に残しておかなければならない所である。改変する際には、充分なる調査、研究を行い、後々の影響を考え、多

くの人の意見を聞き、慎重な配慮がなされた上で進行することが必要ではないでしょうか。

市民も、行政の立場にある方も、目先の利用計画を優先させないで、古代から保ち続けられてきた佐潟の自然を急変することを避けるように考えてほしい。一旦破壊したらもとに戻すことが出来ないのですから..... (石沢 進)

改変されるか—



市民憲章
わたしたちのめざす新潟

ゆたかな海の幸と田畑のみどり。
新潟は、自然がいかにまもられるまち。

乾上って枯死したオニバス (1989. 8. 2)